

好きです、孺恋

2008年4月1日火曜日
創刊号
発行 NPO「好きです、孺恋」
発行責任者 会長 久保八百子

コミュニティ紙 創刊号発刊!

コミュニティ紙「好きです、孺恋」の、記念すべき第1号が発刊しました。

この「好きです、孺恋」は、文字通り「孺恋村が大好き！」という思いをいっぱいにつめた情報紙です。

「孺恋村のこんな良いところを知ってるよ」「大好きな孺恋村だけど知らないこともいっぱい」「生まれた時から孺恋村に住んでいるから孺恋村のことなら何でも聞いて!」「孺恋村に移住してきたばかり…いろんなことを教えて欲しいな」

…そんな『孺恋村情報』を発信して、孺恋村のことをあまり知らない方には『孺恋村大好き』に、もう十分知ってる方にも『もっと孺恋村大好き』になっていただけるような情報誌にしていけたらと思っております。

又、みなさまの声もどんどん取り上げていき『孺恋村に愛される情報紙』になることも願っております。連載として、孺恋村民、訪問者両方からの声を取材する「わたしの好きな孺恋」を予定しており、こちらのコーナーでは、より多くの方から孺恋に関するお話をお聞きしたいと思っておりますので、読者の皆様に、突撃インタビューや原稿依頼に伺う可能性もございます。その際には、どうぞよろしくお願いいたします。



会長挨拶



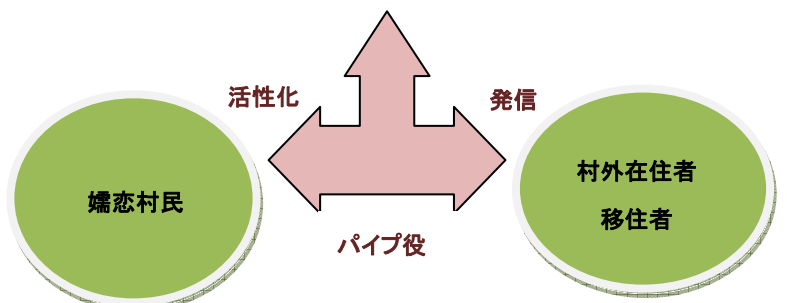
NPO「好きです、孺恋」
会長 久保 八百子

このたび「好きです、孺恋」発足に当たり、メンバーの皆さんからの推薦により会長をさせていただくことになりました、久保八百子です。

器ではありませんし、また女性と言うことで、皆さまも驚かれることと思います。自分でも戸惑いと、不安でいっぱいです。

『村を元気に明るく』これは、お年寄りから、子ども達まで、皆さんが願うことだと思います。孺恋の良いところを発信し、多くのお客様に訪れていただき、地場産の野菜を使った料理で愛情をもっておもてなしをする。『また孺恋村に行ってみたい』と思っていただく。それが、『村を元気に明るく』につながればと思っております。どうぞ、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

NPO「好きです、孺恋」ってどんな会?



- ◇孺恋の魅力発掘・発信
- ◇伝統技術や文化の伝承
- ◇農業体験
- ◇自然体験
- ◇地域性を活かした新商品の開発
- ◇コミュニティ紙の発行



NPO「好きです、孺恋」メンバー



わたしの好きな孺恋

このコーナーでは、孺恋村に住んでいる人から見た孺恋村、孺恋村外から見た孺恋村、双方からの『孺恋村』を取り上げていきます。第1回目は、孺恋村からは熊川村長、村外からは、孺恋 NPO「好きです、孺恋」の発案者でもあり、会員でもあり、又、孺恋村の太ファンでもある、明治大学商学部教授の水野勝之先生にお願いしました。

『好きです、孺恋』発足によせて 孺恋村長 熊川 栄



NPO「好きです、孺恋」の発足を大変嬉しく思います。今回、明治大学が文部科学省の委託事業として行った「社会人の学び直しプログラム」の孺恋プロジェクトを受講された孺恋村民のみなさんが中心となり、「孺恋村の活性化のために何かしたい」とのことから「好きです、孺恋」を設立されました。

孺恋村には浅間山、四阿山(吾妻山)、白根山の日本百名山が三つあり、3400ヘクタールの広大なキャベツ畑があります。また、厳しい財政事情の中でも、有能な人材がたくさんおります。知恵を出し、汗を流して、元気で明るい村をつくっていかねばなりません。

「井戸を掘るなら、水が湧くまで掘れ」明治時代の農村指導者である、石川理紀之助の言葉であります。疲弊にあえぐ東北の農村復興にその生涯を捧げた人物で、彼はどんな時も決して諦めることなく、結果を出すまで努力することの大切さを教えました。中国の言葉に「井戸を掘るのは大変である、出た水を飲むのは簡単だ」という諺があります。私たちは、今未来の孺恋村のために一生懸命、井戸を掘る時であると思っています。活力ある輝かしい孺恋村づくりに向け、NPO「好きです、孺恋」のご活躍を期待いたします。

『孺恋村は通勤圏』 明治大学商学部教授 水野 勝之



東京に住んでいると、孺恋村は非常に遠いように思われます。しかし、実際は違いました。新幹線で軽井沢まで行き、車で孺恋に向かうと2時間ほどで着いてしまいます。

私の勤めている明治大学には、神奈川県の小田原市、千葉県の大原市などから、2時間以上かけて通ってくる学生がたくさんいます。その事実を考えれば、孺恋村から東京に通うのは可能なわけです。とはいえ、新幹線の運賃、孺恋—軽井沢間のタクシー代やガソリン代など諸経費を考えれば、普通の人は無理だと考えあきらめてしまいます。

そこで、今回立ち上がりましたNPOには、常識では無理なことをアイデアにより可能にしてもらいたいと思います。毎日の通勤が無理ならば、孺恋—軽井沢間に木炭バスを走らせるとか、週末の居住者を促進するとか、野菜を届けることで東京の人に何かを伝えるとか、様々なアイデアがあるはずです。

NPOには、村の方々、明治大学の人たちも多数参加しています。多彩な顔ぶれで、いろいろアイデアを出し合い、かつ良いものはどんどん実施していく、そのようなNPOの今後を期待します！

◎「わたしの好きな孺恋」第2回目は、熊川八重子さんにお話しを伺う予定です。

◎コミュニティ紙「好きです、孺恋」では、孺恋村で行われるイベント、出来事などを幅広く紹介していきたいと思っております。皆様からの情報も募集しておりますので、どしどしお寄せ下さい。お待ちしております！



このコミュニティ紙を発行しております「好きです、孺恋」は、孺恋村が大好きという人たちが集まって作ったNPO団体です。昨年度、明治大学が文部科学省の委託事業として行った『社会人の学び直しプログラム』というプロジェクトに参加した人たちが主なメンバーです。

このプロジェクトを通して出会った人たちが「せっかく孺恋村大好きな人たちが集まったのだから 今後も何か続けていきたい」と考え、このプロジェクトのコーディネーターであり、孺恋村のファンでもある水野勝之 明治大学商学部教授からの提案で、発足しました。

孺恋村民、孺恋村のファンの方、明治大学関係者など、さまざまな人が集まり楽しく活動しております。熊川村長も名乗りをあげてくださいました。

『孺恋村が好き』という方であれば、どなたでも参加できる会です。会員は随時募集しておりますので、一緒に孺恋の魅力を発掘したい方、孺恋のために何かしたい方、孺恋をもっと知りたい方、ぜひご連絡下さい！お待ちしております。

NPO「好きです、孺恋」 お問い合わせ先

〒377-1524 群馬県吾妻郡孺恋村鎌原 1045-1170 手塚 慎 TEIL 0279-86-5018